

東東小コミュニティ・スクール通信

令和4年 8月25日発行 No.1 発行者 東小学校コミュニティ・スクール協議会事務局

東小学校コミュニティ・スクール協議会を設置しました《その①》

コミュニティ・スクールは、子どもたちの学びの場を学校だけに限定せず、家庭はもとより地域全体を学びの場として捉え、学校・家庭・地域が目標を共有して、ともに子どもたちを育てていく取組です。

教育は学校だけで行うことはできません。学校教育、家庭教育、社会教育がしっかりと役割を果たすことにより、学びは充実していきます。

帯広市教育委員会では、学校・家庭・地域が一体となって子どもたちを育てていくコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）を推進しており、東小においても、令和3年度12月に設置しました。

これからの時代・社会を生きていく子どもたちには、自ら課題を見つけ解決していく力や協働する力など、人間ならではの感性を働かせてよりよい未来を切り拓いていく力が求められます。こうした力は、学校だけではなく、家庭や

地域での多様な人々との関わりや様々な経験の中で育まれるものであり、**学校・家庭・地域の連携・協働**がますます重要になっています。



生涯学習委員会によるラジオ体操会

東小学校コミュニティ・スクール協議会を設置しました《その②》

コミュニティ・スクールを導入するに当たり、まず「コミュニティ・スクール協議会」を設置しました。

東小の名称は「**東小学校コミュニティ・スクール協議会**」です。

コミュニティ・スクール協議会は、教育委員会により任命された委員が、学校の運営や子どもたちの教育に関して協議する機関のことです。委員は保護者や地域住民の方々の中から校長の推薦に基づき任命されます。

コミュニティ・スクール協議会の役割は

- 学校運営の基本的な方針を承認する
- 学校運営や教職員の任用に関して意見を述べるができる
- 学校運営等を評価する
- 学校・家庭・地域の連携・協働を推進する などがあります。

コミュニティ・スクール協議会のメンバーは上の図の左側のように

- 保護者・関係機関職員・学識経験者・ボランティア・コーディネーター・地域住民・校長
- 具体的には、保護者の皆様からPTA役員、地域の皆様から学校評議員、普段から支援していただいている学校支援ボランティアの方々等にお願いしました。

コミュニティ・スクールの活動は上の図の右側のように

- これまで保護者や地域の皆様のご協力により、特色のある取組が行われてきました。コミュニティ・スクールを導入し、どのような子どもを育てるかという目標・ビジョンを学校・家庭・地域が共有して役割を分担することによって、より高い教育効果が期待されます。
- 活動に加わっていただく方に決まりはありません。「子どもたちの学びと育ちを支えたい」という思いを共有する保護者・地域の皆様に幅広くご協力いただきたいと思います。

